

●実務経験のある教員等による授業科目

K-POPエンタテイメント科

K-POPダンス&ヴォーカルコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時間数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	38	38	必修	講義	○	76
	デビュー・就職実務Ⅰ	93		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
	著作権		20	必修	講義		-
	PC実習	45		必修	実習		-
	選択授業	38	38	必修	講義		-
	異文化研究	22		必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	110	必修	実習	○	244
	イベント制作実習B	301	305	必修	実習	○	606
専門科目	韓国語Ⅰ	76		必修	講義		-
	韓国語Ⅱ		76	必修	講義		-
	ネイティブ韓国語Ⅰ	19		必修	講義		-
	ネイティブ韓国語Ⅱ		19	必修	講義		-
	TOPIKⅠ検定対策	38		選択必修	講義		-
	TOPIKⅡ検定対策		38	選択必修	講義		-
	韓国語ヴォーカル	38	38	選択必修	実習	○	76
	JAZZⅠ	38		必修	実習	○	38
	JAZZⅡ		38	必修	実習	○	38
	JAZZ FUNKⅠ	38		必修	実習	○	38
	JAZZ FUNKⅡ		38	必修	実習	○	38
	ヴォーカル実技Ⅰ	38		必修	実習	○	38
	ヴォーカル実技Ⅱ		38	必修	実習	○	38
	PCデザイン実習	38		必修	講義	○	38
K-POP韓国語		38	必修	講義		-	
合計	総授業時間数	956					
合計	総授業時間数		851				合計
卒業時最少時間		1807					1268

※1年次「TOPIKⅠ検定対策」と「韓国語ヴォーカル」のどちらか1科目を選択  
 ※2年次「TOPIKⅡ検定対策」と「韓国語ヴォーカル」のどちらか1科目を選択

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし
成績評価	<p>課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2019年度例) エイベックス・エンタテインメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、oricon ME、株式会社エイスリー等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×	
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	93	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む          基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。          検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>				
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マンダラートシート」の作成 就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「マンダラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マンダラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作方法的の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レピュテーション(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望: II【目標設定と計画、自覚】「マンダラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説により深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用)
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	45 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集 (Word・Excel共に) 自作のプリント</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による
成績評価	<p>※各科目によって異なる</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	22 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	110 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	301 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	305 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	韓国語 I		実務授業の有無	×
担当講師	小林美奈子/平川真由美/金寶英		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	76 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	<p>ハンゲルの仕組み、基本発音を学び、基本的な日常会話までできる事を目指す。 また、基本的な日常会話で使われる文法を理解する。「最新チャレンジ韓国語」を使用し、後期後半から進度に合わせて「ちょこっとチャレンジ」を使用する。 特別講義では、韓国文化やK-POPにまつわる講義を実施、言葉だけではなく、楽しみながら韓国を理解できるようにする。 検定前には検定対策を実施。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	韓国語授業ガイダンス及びレベル分けテスト(全体で)
2	第1課 ハンゲルの仕組み/基本母音と合成母音
3	第2課 基本子音(平音、激音、濃音の基本)
4	第3課 合成母音
5	第4課 基本パッチム/発音の変化
6	第5課 私は～です 名詞の肯定文、否定文、疑問文
7	特別授業(予定)
8	第5課 私は～です 名詞の肯定文、否定文、疑問文
9	第6課 時間がありますか？有無をあらわす表現 物・家族
10	第6課 時間がありますか？有無をあらわす表現 物・家族
11	第7課 それは何ですか？ これ、それ、あれ、だれの表現
12	特別授業(予定)
13	第7課 それは何ですか？ 質問して答える
14	第8課 日曜日は何をしますか？ うちとけた「です・ます」体
15	第8課 日曜日は何をしますか？ 数字の表現
16	第9課 何が好きですか？自分の好みやしたい事を表現する
17	第9課 何が好きですか？自分の好みやしたい事を表現する
18	特別授業(予定)
19	これまでに学んだ文法、語彙を使用して文章を作成し、発表する(レポートにして提出)
20	第10課 週末に何をしましたか？ 自分のした事を表現する(過去形)
21	第10課 週末に何をしましたか？ 自分のしたい事を表現する(願望)
22	特別授業(予定)
23	第11課 明日は何をするつもりですか？ 予定や推測の表現
24	第11課 明日は何をするつもりですか？ 買い物をする時の表現、語彙
25	第12課 スープが冷たくておいしいです 自分の気持ちを表現する
26	特別授業(予定)
27	第12課 スープが冷たくておいしいです 様々な表現方法/形容詞
28	第13課 一度遊びに来てください 相手の意思をたずねたり、誘ってみる
29	第13課 一度遊びに来てください 可能・不可能の表現
30	TOPIK検定対策授業 過去問
31	TOPIK検定対策授業 過去問
32	特別授業(予定)
33	第1課(ちょこっとチャレンジ)お名前は何かとおっしゃいますか？インタビューをする
34	第2課(ちょこっとチャレンジ)朝子といいますが、日本から来ました。自己紹介をする
35	第3課(ちょこっとチャレンジ)魚は焼かないでください。決まりを言う。
36	第3課(ちょこっとチャレンジ)魚は焼かないでください。手紙を読む、書く。
37	特別授業(予定)
38	これまでに学んだ文法、語彙を使用して文章を作成し、発表する(レポートにして提出)

教科書等	最新チャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子著/白水社) ちょこっとチャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子、崔榮美著/白水社)
成績評価	出席40%、授業態度30%、達成度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	韓国語 II		実務授業の有無	×
担当講師	小林美奈子/平川真由美/金寶英		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	76 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	<p>1年次から引き続き延世韓国語を使用し、基礎的な文法を理解し、必須の語彙を習得する。日常的な場面で、自然に韓国語で会話できるようになる事を旨とする。延世韓国語1-2を使用するが、進度に応じて2-1に進んでもよい事とする</p> <p>特別講義では、韓国文化やK-POPにまつわる講義を実施、言葉だけではなく、楽しみながら韓国を理解できるようにする。</p> <p>検定前には検定対策を実施。</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	韓国語授業ガイダンスおよびレベル分けテスト(全体で)
2	1年に習った内容の復習
3	第6課 01 買い物に行く
4	第6課 02 物の質と大きさを話す
5	第6課 03 値段を聞く
6	第6課 04 値段を値切る
7	特別授業(予定)
8	第6課 05 第6課まとめ 買い物場面を想定し、グループで会話を楽しむ
9	第7課 01 位置、道を聞く
10	第7課 02 交通の便とかかる時間を聞く
11	第7課 03 交通手段を利用する
12	特別授業(予定)
13	第7課 04 タクシーを利用する
14	第7課 05 第7課まとめ ○○～□□までの交通手段を説明してみる。
15	第8課 01 電話番号を話す
16	第8課 02 電話をかける
17	第8課 03 電話で約束をする
18	特別授業(予定)
19	評価週 これまで学んだ文法・語彙を使用して文章を作成し発表する
20	第8課 04 電話で相手をかかわってもらう
21	第8課 05 第8課まとめ ペアで電話で約束をしてみる
22	特別授業(予定)
23	第9課 01 季節について話す
24	第9課 02 今日の天気について話す
25	第9課 03 天気を比べる
26	特別授業(予定)
27	第9課 04 季節にあった余暇生活
28	第9課 05 第9課まとめ 季節についてグループで話してみる
29	第10課 01 計画を話す
30	TOPIK検定対策授業 過去問
31	TOPIK検定対策授業 過去問
32	特別授業(予定)
33	第10課 02 趣味について話す 1
34	第10課 03 趣味について話す 2
35	第10課 04 週末にする事について話す
36	第10課 05 第10課まとめ 趣味についてグループで話し合う
37	特別授業(予定)
38	評価週 これまで学んだ文法・語彙を使用して文章を作成し発表する

教科書等	延世韓国語1-2 延世韓国語活用練習1-2 進度に応じて延世韓国語2-1、延世韓国語活用練習2-1(プリント配布)
成績評価	出席40%、授業態度30%、達成度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ネイティブ韓国語 I	実務授業の有無	×
担当講師	黄 仁祚	講義実施時期	前期・後期
		必修	必修
対象学年	1 年	総授業時間	19 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科	対象コース	K-POPEビジネスコース/K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	この講義では韓国語の発音と抑揚、そして韓国文化について学ぶ。韓国語で自己紹介と挨拶などの簡単な会話と韓国語を表記するアルファベットであるハングルの発音と抑揚の習得を目標とする。そのために、グループやペアワークなどの活動を多用しながら授業を進める。さらに韓国の音楽やドラマ、そして文化を紹介し、韓国に対する理解を高める。
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明 ①ハングルの起源と構造/日本語との比較 ②ミニ会話(自己紹介)
2	基本母音の発音トレーニング ①오/으と우/우の発音の区別 ②ミニ会話(タクシーに乗る)
3	平音発音・抑揚トレーニング ①単語の最初の平音(ㅏ ㅓ ㅗ ㅛ)の抑揚 ②基本母音と子音の組み合わせの読み練習と有声音化
4	激音の発音・抑揚トレーニング ①平音と激音の発音の区別 ②単語の最初の激音(ㅋ ㅌ ㅍ ㅊ)の抑揚
5	濃音の発音・抑揚トレーニング ①平音と激音と濃音の発音の区別 ②単語の最初の濃音(ㅍ ㅊ ㅌ ㅎ)の抑揚
6	合成母音発音・抑揚トレーニング ①合成母音の発音練習/「ㄹ」発音の区別 ②合成母音と子音の組み合わせの読み
7	パッチムの発音トレーニング ①パッチム「ㄱ ㅋ ㆁ」と「ㅇ ㄴ ㄹ ㄷ」の発音の区別とその関係 ②パッチムの読み
8	日本語の韓国語表記 ①日本語の韓国語表記の必要性 ②自分の名前と日本の都市名のハングル練習
9	連音化のトレーニングとリスニング ①連音化の定義 ②連音化の読みと書き取り
10	濃音化のトレーニングとリスニング ①濃音化の定義 ②濃音化の読みと書き取り
11	激音化のトレーニングとリスニング ①激音化の定義 ②激音化の読みと書き取り
12	ㄹ弱音化のトレーニングとリスニング ①ㄹ弱音化の定義 ②ㄹ弱音化の読みと書き取り
13	鼻音化のトレーニングとリスニング ①鼻音化の定義 ②鼻音化の読みと書き取り
14	ㄴ挿入化のトレーニングとリスニング ①ㄴ挿入化の定義 ②ㄴ挿入化の読みと書き取り
15	リズムとイントネーションの読みトレーニング ①単語と文章の高さと長さ ②ミニ会話(食堂に行く)
16	リズムとイントネーションの読みトレーニング ①文末のイントネーション ②ミニ会話(ショッピングする - ①)
17	リズムとイントネーションの読みトレーニング ①文章の意味のまとめ ②ミニ会話(ショッピングする - ②)
18	童話のリーディング(羊飼いとオオカミ) - ① ペアで読み練習
19	童話のリーディング(羊飼いとオオカミ) - ② ペアで発表

教科書等	指定の教材なし。必要に応じて講師でプリント準備、配布して使用
成績評価	課題レポート提出60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ネイティブ韓国語 II		実務授業の有無	×	
担当講師	金 寶英		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	2	年	総授業時間	19	時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPEビジネスコース/K-POPダンス&ヴォーカルコース	

授業概要	韓国語の発音と抑揚トレーニングの教材を使い発音の練習をする
------	-------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	韓国語の子音を練習
2	韓国語の母音を練習
3	平音、激音、濃音の違い①
4	平音、激音、濃音の違い②
5	平音、激音、濃音の違い③
6	連音化の練習
7	パッチムの練習①
8	パッチムの練習②
9	前期習った内容のおさらい
10	前期を振り返る
11	イントネーションの変化①
12	イントネーションの変化②
13	イントネーションの変化③
14	韓国語の発音法則のまとめ①
15	韓国語の発音法則のまとめ②
16	KPOPの歌詞で発音の変化を感じる①
17	KPOPの歌詞で発音の変化を感じる②
18	発音変化のまとめ
19	後期習った内容のおさらい

教科書等	韓国語の発音と抑揚トレーニング 毎回小テスト
成績評価	出席40%、授業態度30%、達成度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	TOPIK I 検定対策		実務授業の有無	×
担当講師	小林 美奈子		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	1	年	総授業時間	38
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	<p>K-POP科においては、韓国語の習得は必須であり、韓国をフィールドとしてデビュー、就職するためには、世界共通の韓国語能力の証明となるTOPIKを保有する事が大きな武器となる。その為、韓国語学習初心者にはTOPIK I について基本情報を理解させ、まず、TOPIK I (1級～2級)合格に必要な聞き取り力と読み取り力を身に付け、合格する為の語彙力を習得する。語彙力については、通常の文法授業で学習する語彙の他、検定対策用の語彙までを学ぶ。過去問を解きながら、出やすい単語をピックアップし都度覚えるようにしていく。今年度受験終了後はTOPIK I 振り返りとTOPIK II へ向けた準備の学習を進める</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	TOPIK 受験ガイダンス・受験級確認 TOPIK I 韓国教育財団HP確認 試験の概要と合格ラインを理解させる
2	読み取り 試験傾向(1) 初級単語確認
3	読み取り 試験傾向(2) 初級単語確認
4	読み取り 試験傾向(3) 初級単語テスト
5	聞き取り 試験傾向(1) 初級単語確認
6	聞き取り 試験傾向(2) 初級単語確認
7	聞き取り 試験傾向(3) 初級単語テスト
8	過去問実施
9	過去問 解説
10	初級単語確認およびテスト
11	過去問実施
12	過去問 解説
13	過去問実施
14	過去問実施
15	TOPIK I 検定振り返り 読み取り試験についての対策
16	TOPIK I 検定振り返り 書き取り試験についての対策
17	TOPIK II 受験準備講座
18	TOPIK II 受験準備講座

教科書等	韓国語能力試験TOPIK I (初級)完全対策 韓国語能力試験TOPIK1, 2級 初級単語800
成績評価	出席40%、授業態度30%、達成度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	TOPIK II 検定対策		実務授業の有無	×
担当講師	金 相範		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	2	年	総授業時間	38
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	TOPIKII検定試験に向けて、さらに上級に合格できるよう対策を行っていく。「聴き取り」、「作文」、「読解」全ての項目に対し、それぞれ過去問で頻繁に出題される語彙・文法を勉強していく。過去問のパターンと問題を分析し、それを理解・応用して問題が解けるよう学習していく。この授業の目標は、すでにTOPIKで2級以上獲得して受検者がさらにTOPIKIIの検定試験で高得点を取り、上級の資格を持てるようにすることである。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①TOPIKIIの試験概要に対して説明を行う。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
2	①「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
3	①「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
4	①「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
5	①「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
6	①「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
7	①「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
8	①「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
9	①「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
10	①「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
11	①「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
12	①「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
13	①「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
14	①「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
15	①「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
16	①「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
17	①「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
18	①「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
19	最終試験の翌週に振り返りを行う。

教科書等	「한국어뱅크TOPIKII한 권이면OK日本語翻訳版」を教科書として使用する。「TOPIK中級語彙30日でマスター」を毎週コピー・配布し覚えさせ頻繁に小テストを行う。必要に応じて追加のプリントと音声ファイルを配布する。
成績評価	課題レポート提出・小テスト50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	韓国語ヴォーカル		実務授業の有無	○
担当講師	朴 ハリム		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	選択必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	<p>世界で注目されているK-POP！そのK-POPアーティストを目指して土台を作っていきます。歌の基礎となる発声の練習や韓国語の発音、意味などを習い曲をより豊かに表現できるように練習していきます。ラップや作詞の時間も取り入れて韓国語の歌に慣れるように練習します。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①発声練習、課題曲練習 ②ラップ練習Ⅰ ③個別チェック
2	①発声練習、課題曲練習 ②ラップ練習Ⅱ ③個別チェック
3	①発声練習、課題曲練習 ②韓国語での作詞Ⅰ ③個別チェック
4	①発声練習、課題曲練習 ②韓国語での作詞Ⅱ ③個別チェック
5	①発声練習、課題曲練習 ②ラップ練習Ⅲ ③個別チェック
6	①発声練習、課題曲練習 ②ラップ練習Ⅳ ③個別チェック
7	①発声練習、課題曲練習 ②韓国語での作詞Ⅲ ③個別チェック
8	①発声練習、課題曲練習 ②韓国語での作詞Ⅳ ③個別チェック

教科書等	なし
成績評価	<p>課題曲チェック60%、個別チェック20%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>ボイストレーナー歴10年</p> <p>音楽コンテスト受賞多数(MBC大学歌謡祭、CBS創作ゴスペル祭など)</p>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	JAZZ I		実務授業の有無	○
担当講師	田澤 美月		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	K-POPエンタテインメント科		総授業時間	38 時間
		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース	

授業概要	JAZZダンス・HIPHOPが融合したスタイル。体の柔軟性、リズム感、綺麗なポジション取りなどダンスの様々な要素が必要となるので、レッスンでは基礎を重点的に行う。達成目標は、全員が自分の魅力を理解し、アピールができること。自分を生かした振り付けを全員が出来る事。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	自己紹介、自分分析、振り付け
2	アイソレーション、リズム強化、振り付け
3	アイソレーション、リズム強化、振り付け
4	体づくり、ターン強化、振り付け（次回プレゼンテーションできるよう宿題にする）
5	体づくり、ターン強化、最後に振り付けのプレゼンテーション
6	アイソレーション、リズム強化、振り付けを早く覚えるトレーニング
7	アイソレーション、リズム強化、振り付けを早く覚えるトレーニング
8	アイソレーション、リズム強化、振り付けを早く覚えるトレーニング
9	ストレッチのキューイング授業（教えられるようになる）、振り付け
10	アイソレーションのキューイング授業（教えられるようになる）、振り付け
11	ターン強化、フリースタイル、チームで振り付けを考える
12	ターン強化、フリースタイル、チームで振り付けを考える
13	フリースタイル強化、一人で振り付けを考える
14	フリースタイル強化、一人で振り付けを考える
15	振り付けをプレゼンテーション
16	基礎全般、振り付け
17	基礎全般、振り付け
18	基礎全般、振り付け
19	基礎全般、振り付け

教科書等	無
成績評価	テクニック60% コミュニケーション能力40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ダンサー、コレオグラファーとして日本や海外で活動している。 世界大会三連覇した"CHIBI UNITY"の所属する「SUGA DANCE INNOVATION」にダンサー・ダンスインストラクターとして在籍する。

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	JAZZ II		実務授業の有無	○
担当講師	田澤 真寿美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	<p>主に舞台上で踊るためのシアタージャズ、バレエ基礎に基づいたリリカルジャズ、コンテンポラリーを行う。体づくりやテクニック、表現力の向上を重点的に行うのと同時に、課題曲を与え、生徒自身が成長していると感じる事、自分自身を毎時間分析する。自己表現向上のため、自身で振り付けを行う。また、チームで振り付けを作る事によりコミュニケーション能力向上や、その中で自己主張が出来るようにする。目標は全員がJAZZの基礎を理解し、それを自分のスタイルに活かせるようになること。</p>
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	オリエンテーション（自己紹介、自己分析）・ストレッチ～課題曲振り入れ（スキルチェックを行う）
2	JAZZ基礎レベル1（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・課題曲
3	JAZZ基礎レベル1（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・第1回課題曲
4	JAZZ基礎レベル1（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・課題曲
5	JAZZ基礎レベル1（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・第2回課題曲
6	JAZZ基礎レベル2（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・課題曲2振り入れ
7	JAZZ基礎レベル2（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・第1回課題曲2チェック
8	JAZZ基礎レベル2（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・課題曲2振り入れ
9	JAZZ基礎レベル2（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・第2回課題曲2チェック
10	JAZZ基礎レベル3（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・課題曲3
11	JAZZ基礎レベル3（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・第1回課題曲3チェック
12	JAZZ基礎レベル3（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・課題曲3
13	JAZZ基礎レベル3（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・第2回課題曲3チェック
14	JAZZ基礎レベル4（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・振り付け制作（個人）
15	JAZZ基礎レベル4（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・振り付け制作（個人）
16	JAZZ基礎レベル4（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・プレゼンテーション
17	JAZZ基礎レベル4（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・振り付け制作（チーム）
18	JAZZ基礎レベル4（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・振り付け制作（チーム）
19	JAZZ基礎レベル4（ストレッチ、バレエ、シアターJAZZ基礎、フロアワーク）・プレゼンテーション

教科書等	無
成績評価	スキル40%、授業態度および学習意欲40%、コミュニケーション能力20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ダンサー、コレオグラファー、インストラクターとして日本や海外で活動。 J-POPアイドルダンストレーナー、コンサート演出補佐。

# SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	JAZZ FUNK I		実務授業の有無	○
担当講師	角田 真優		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース
授業概要	最終的な目標としては、このSHOW!で過ごした学生時代が将来必ず自分の糧になるよう、人間性・仲間意識構築・自分の将来を自分で切り開く行動力を身に付けるための授業を行います。授業はじめに個々の目標設定、全体の1年を通じてのテーマ設定をした上で必要なダンススキルを磨くためにボジション・木曾両区をあげるための振り付け・トレーニングを1から鍛えます。必ずメモをする習慣をつけさせる。			

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	『1年の最終的目標設定』ここに最終的目標を決める。そのうえで全体のテーマ設定。話し合い。
2	『振り付けクラス』個々のスキルや人間性を知るため、レッスンの雰囲気作りを1から学ぶ時間として初めに振り付けのクラスを行います。
3	『基礎力アップ』基本のストレッチ、トレーニングを習慣づけるためのJAZZクラスに向けたルーティンを行う。
4	『基礎応用』基礎を取り入れた振り付けで体の使い方をきちんと学ぶ。
5	ルーティン。習慣づけるため1時間みっちりストレッチ・筋トレを行う。
6	振り付けクラス。基礎（ターン・ジャンプ）を取り入れ少しずつ難易度をあげていきます。
7	ルーティン。習慣づけるため1時間みっちりストレッチ・筋トレを行う。
8	振り付けクラス。基礎を取り入れ少しずつ難易度をあげていきます。
9	1年の半分の授業を終えるところで、最初に設定したビジョンをきちんと達成に向けて行動できているか、後半のクラスをもっとよくしていくために何が出来るかを話し合う。残り時間テストに向けて基礎練習。（練習用の振り付けやルーティン。）
10	『シューティング用作品づくり』ルーティンは必ず行う。少しずつ作品を進めていきます。
11	ストレッチ・ターン・ジャンプなどのテストに向けて基礎練習。フリースタイル。
12	『シューティング用作品づくり』ルーティンは必ず行う。少しずつ作品を進めていきます。
13	ストレッチ・ターン・ジャンプ・ウォークなどのテストに向けて基礎練習。フリースタイル。
14	『シューティング用作品づくり』ルーティンは必ず行う。少しずつ作品を進めていきます。
15	ストレッチ・ターン・ジャンプ・ウォークなどのテストに向けて基礎練習。フリースタイル。
16	シューティング。
17	シューティング。
18	最終テスト。
19	総まとめ。自分の目標・全体のテーマをきちんと達成できたか。

教科書等	なし
成績評価	成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 授業態度/意欲30% コミュニケーション能力20% 人間性20% 基礎力/ダンススキル30%
実務経験教員の経歴	・Dance Presentation Unityスタッフ ・Suga Dance Innovationインストラクター ・Chibi Unityインストラクター 経歴 アメリカ留学 新潟競馬場CM出演 ミッドガーデンCM出演 Hilty&Bosh記念公演出演 新潟総踊りゲスト出演 VIBE EXHIVITION 2019ゲスト出演

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	JAZZ FUNK II		実務授業の有無	○
担当講師	角田 真優		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	最終的な目標としては、このSHOW!で過ごした学生時代が将来必ず自分の種になるよう、人間性・仲間意識構築・自分の将来を自分で切り開く行動力を身に付けるための授業を行います。授業はじめに個々の目標設定、全体の1年を通してのテーマ設定をした上で必要なダンススキルを磨くためにポジション・木曾両区をあげるための振り付け・トレーニングを1から鍛えます。必ずメモをする習慣をつけさせる。
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	『1年の最終的目標設定』ここに最終的目標を決める。そのうえで全体のテーマ設定。話し合い。
2	『振り付けクラス』個々のスキルや人間性を知るためや、レッスンの雰囲気作りを1から学ぶ時間として初めに振り付けのクラスを行います。
3	『基礎力アップ』基本のストレッチ、トレーニングを習慣づけるためのJAZZクラスに向けたルーティンを行う。
4	『基礎応用』基礎を取り入れた振り付けで体の使い方をきちんと学ぶ。
5	ルーティーン。習慣づけるため1時間みっちりストレッチ・筋トレを行う。
6	振り付けクラス。基礎（ターン・ジャンプ）を取り入れ少しずつ難易度を上げていきます。
7	ルーティーン。習慣づけるため1時間みっちりストレッチ・筋トレを行う。
8	振り付けクラス。基礎を取り入れ少しずつ難易度を上げていきます。
9	1年の半分の授業を終えるところで、最初に設定したビジョンをきちんと達成に向けて行動できているか、後半のクラスをもっとよくしていくために何が出来るかを話し合う。残り時間テストに向けて基礎練習。（練習用の振り付けやルーティーン。）
10	『シューティング用作品づくり』ルーティーンは必ず行う。少しずつ作品を進めていきます。
11	ストレッチ・ターン・ジャンプなどのテストに向けて基礎練習。フリースタイル。
12	『シューティング用作品づくり』ルーティーンは必ず行う。少しずつ作品を進めていきます。
13	ストレッチ・ターン・ジャンプ・ウォークなどのテストに向けて基礎練習。フリースタイル。
14	『シューティング用作品づくり』ルーティーンは必ず行う。少しずつ作品を進めていきます。
15	ストレッチ・ターン・ジャンプ・ウォークなどのテストに向けて基礎練習。フリースタイル。
16	シューティング。
17	シューティング。
18	最終テスト。
19	総まとめ。自分の目標・全体のテーマをきちんと達成できたか。

教科書等	なし
成績評価	成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。 授業態度/意欲30% コミュニケーション能力20% 人間性20% 基礎力/ダンススキル30%
実務経験教員の経歴	・Dance Presentation Unityスタッフ ・Suga Dance Innovationインストラクター ・Chibi Unityインストラクター 経歴 アメリカ留学 新潟競馬場CM出演 ミッドガーデンCM出演 Hilty&Boshi記念公演出演 新潟総踊りゲスト出演 VIBE EXHIVITION 2019ゲスト出演

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカル実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	マクレーン有美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	発声基礎から、歌唱に必要なメロディーアプローチ、グルーブ感、ヴォーカルコントロール全般のレッスンを行う。 個人レッスンを通して自分の声としっかり向き合い、自分に合った発声法、オリジナリティある表現を見出していく。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、ヒアリング、レッスン時における重要事項の説明
2	個人レッスン
3	個人レッスン
4	個人レッスン
5	個人レッスン
6	個人レッスン
7	個人レッスン
8	個人レッスン
9	発表会
10	個人レッスン
11	個人レッスン
12	個人レッスン
13	個人レッスン
14	個人レッスン
15	個人レッスン
16	個人レッスン
17	個人レッスン
18	個人レッスン
19	発表会、振り返り、まとめ（今後の目標、課題の確認）

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲50%、歌唱審査50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォイストレーナー歴21年 多くアーティスト、アイドルを指導 ニューヨーク、ロサンゼルス、日本にてヴォイストレーニングを受講 自らもアーティスト活動でメジャーデビュー、それに伴うプロモーション活動全般を経験

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカル実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	マクレーン有美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	発声基礎から、歌唱に必要なメロディーアプローチ、グルーブ感、ヴォーカルコントロール全般のレッスンを行う。 個人レッスンを通して自分の声としっかり向き合い、自分に合った発声法、オリジナリティある表現を見出していく。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、ヒアリング、レッスン時における重要事項の説明
2	個人レッスン
3	個人レッスン
4	個人レッスン
5	個人レッスン
6	個人レッスン
7	個人レッスン
8	個人レッスン
9	発表会
10	個人レッスン
11	個人レッスン
12	個人レッスン
13	個人レッスン
14	個人レッスン
15	個人レッスン
16	個人レッスン
17	個人レッスン
18	個人レッスン
19	発表会、振り返り、まとめ（今後の目標、課題の確認）

教科書等	なし
成績評価	授業態度および学習意欲50%、歌唱審査50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォイストレーナー歴21年 多くアーティスト、アイドルを指導 ニューヨーク、ロサンゼルス、日本にてヴォイストレーニングを受講 自らもアーティスト活動でメジャーデビュー、それに伴うプロモーション活動全般を経験

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PCデザイン実習		実務授業の有無	○
担当講師	田中 史歩		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	K-POPエンタテインメント科		総授業時間	38 時間
		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース	

授業概要	<p>PCを使う事によって自身のプロフィール作成や、デザインを学び、基本的なクリエイティブツールを使いこなす事で自己プロデュース力を身に付ける。</p> <p>また、各種SNSを通して発信していく力を身に付けるために、実習形式の授業となる。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【PCを理解】 基本操作説明、タイピング
2	【プロフィール作成】 Wordデータにてフォーマット配布。
3	【写真撮影】 一眼カメラと、スマホの両方で撮影し、違いを検証。PCに取り込む作業。
4	【リサーチ】 デモンストレーションコンサート出演、場所ピックアップ
5	【音響実習】 簡易音響機材セット説明
6	【グループ作成】 アーティスト名、フライヤー、SNS、活動場所ピックアップ
7	【SNS】 様々なSNSでの活用方法、アーティスト活動を学ぶ
8	【前期まとめ作業】 グループでの前期活動まとめ、発表できるように。
9	【前期終了】 活動プレゼン発表
10	【グループ作品Ⅰ】 動画 MV撮影と編集①
11	【グループ作品Ⅰ】 動画 MV撮影と編集②
12	【グループ作品Ⅰ】 動画 MV撮影と編集③
13	【グループ作品Ⅱ】 Web Site作成①
14	【グループ作品Ⅱ】 Web Site作成②
15	【グループ作品Ⅱ】 Web Site作成③
16	【グループ活動】 発信とアクセス数チェック。次の活動への見直し。
17	【グループ活動】 発信とアクセス数チェック。次の活動への見直し。
18	【後期まとめ作業】 グループでの前期活動まとめ、発表できるように。
19	【後期終了】 活動プレゼン発表

教科書等	なし
成績評価	課題発表80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ATOM HEART MOTHER 実務約2年 デジタルフォトアルバム作成

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	K-POP韓国語		実務授業の有無	×
担当講師	金 寶英/小林		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	<p>K-POP科ダンス&amp;ヴォーカルコースでは、韓国関連事務所への所属を目標としており、学校内外で楽曲のカバーを中心にアーティスト活動をする為、韓国語歌詞読解、特有の発音方法などの理解が不可欠となる。ここでは、K-POP楽曲を用いて、韓国語の意味や、発音方法などを学習する。</p> <p>また、オーディション面接時などに使える韓国語、音楽業界で使用する韓国語なども併せて学習する。</p> <p>K-POPアーティストの発信するユーチューブ映像などを用いての、韓国語を聞き取れるスキルもアップさせる事を目指す。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①授業オリエンテーション ②好きな韓国アーティスト紹介。将来の目標の発表(日本語もしくは韓国語)
2	K-POP歌詞を用いた読解、および発音(映像を見ながら確認)
3	K-POP歌詞を用いた読解、および発音(映像を見ながら確認)
4	学習した歌詞を実際に歌って踊ってみる
5	K-POPアーティストの映像を用いた聴解 ※オーディション番組など
6	K-POPアーティストの映像を用いた聴解 ※オーディション番組など
7	韓国事務所にオーディションを受ける事を想定して原稿を作る(ペアを組んで作成)
8	韓国事務所にオーディションを受ける事を想定して原稿を作る(ペアを組んで作成)
9	オーディションを受ける事を想定して各ペアで発表してみる
10	K-POP歌詞を用いた読解、および発音(映像を見ながら確認)
11	K-POP歌詞を用いた読解、および発音(映像を見ながら確認)
12	学習した歌詞を実際に歌って踊ってみる
13	韓国語ヴォーカル授業課題曲に挑戦(歌詞読解)
14	韓国語ヴォーカル授業課題曲に挑戦(文法解説)
15	K-POPアーティストの映像を用いた聴解 ※インタビュー映像など
16	K-POPアーティストの映像を用いた聴解 ※インタビュー映像など
17	アーティストになりきりインタビュー会見を想定して原稿を作る(ペアを組んで作成)
18	アーティストになりきりインタビュー会見を想定して原稿を作る(ペアを組んで作成)
19	アーティストになりきりインタビュー会見発表

教科書等	なし。 都度必要に応じてプリント対応(教材使用例：K-POPで韓国語)
成績評価	出席40%、授業態度30%、達成度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	